

## 「なごや東山の森づくりの会」定例会報告

日 時：2016年 1月23日（土）10:00 ~ 12:00 天候：曇り 最高気温：3.4

活動場所：天白区八事裏山の天白溪湿地

作 業：笹刈り、樹木の伐採など

集合場所：東山テニスセンター奥ユーカリ畑駐車場

参加者 会員14名

1月の定例会は暦どおりであれば、実施日が3日となりますが、正月中という事で、東山南部里山班の作業日となっている23日（土）に順延されました。午前9時半を過ぎたあたりから参加者が少しずつ駐車場に集まってきました。この日使用する道具などを確認した後に、10時を過ぎたところで、リーダーから当日の作業内容と、滝川会長から会の活動に関する説明などがあり、それぞれ必要な道具を持って作業現場に向かいました。

この日の作業内容は昨年11月に実施されたうるおいの森のワークショップで行った湿地の笹刈りで残されていた湿地上部の笹刈りを行いました。また、コバノミツバツツジの保全のために、その生息場所の周りの笹の地下茎をツルハシを使って徐伐しました。また、湿地中央部では笹刈りのほか、柵田お水深を確保するために底に貯まっていた泥の浚渫なども行いました。

作業終了後に湿地内に設置してある3箇所の水位観測井で湿地内の地下水の水位を観測しました。この観測井は昨年10月14日に東山総合公園事務局によって設置されたもので、湿地上部の中央付近に一箇所、湿地中部の左右に2箇所に設置されています。この日の観測では、湿地中央部の西側に設置されているNo.2の観測井で底の方に貯まった数ミリの水を観察することが出来ました。そのほかの観測井では底に貯まった土しか観察することができませんでした。この結果は、現在、上流部からの湿地への水の供給が無いこと、湿地の柵田には水が貯まっていないこと、さらに湿地下流の堤防の下を流れている水の供給源が湿地の東側にある山からの湧き水であることと一致します。

天白溪湿地では、一部のコバノミツバツツジが芽吹いていました。春の訪れはもうそこまで来ているようでした。



笹刈り作業前



笹刈り作業中



笹刈り作業後



柵田の浚渫



コバノミツバツツジの芽吹き



水位観測井

次回は2月7日（日）10時から、くらしの森での作業です。